



学校だより

# 浮舟

u k i f u n e

令和5年6月2日(木)  
第12号

〒979-2157  
南相馬市小高区吉名字中坪1  
Tel 0244-44-2023

## 第1学期期末テスト

今日、明日の2日間をかけて第1学期期末テストが行われています。1年生にとっては初めての中学校定期テストになります。1学期に学んだ知識や技能について、記述形式で解答する問題は暗記力だけでなく、自分のものとして使うことができるようになってきているかが問われることとなります。よく例えられていることとして、自動車などのナビゲーションシステムが挙げられます。保護者の皆様のなかで、ナビゲーションで目的地までたどり着くことができても、なかなかその場所を覚えることができないといったご経験はないでしょうか。ただ聞くだけで理解したつもりでいても、実際には身につけていないことがよくあります。簡単に言えば「聞いたことは忘れるのも早い」ということです。授業に当てはめると、聞いたことを自分なりに工夫してノートにまとめたり、家庭学習で振り返ったり、または別の授業の時に学んだことを関連付けたりすることで、確実な知識等の定着を促すことができます。つまり、「自分で考える」過程がとても大切です。期末テストに全力を注がせるとともに、この機会にお子さんの学習スタイルの見直しについてもご家庭でよく話し合ってください。

各学期の期末テストは、教職員の自作問題となります。過日ご家庭に配付いたしましたが、今年度本校の学校評価アンケートに以下の項目があります。

### ◇ AIにできない力を育成する令和型授業の実践

・テストやまとめの問題等では教科書の暗記だけでなく、応用力が求められる問題があり、知識や技能をさらに高めることができている（知識や技能がさらに高まっている）

授業が変われば、テストが変わります。逆にテストが新しく変わらなければ、授業も古いまま変わることができないこととなります。お子さんの「自分で考える」力を評価する適切なテストであったかどうかという視点を持ち、テスト結果だけでなく、問題についても関心をお持ちいただき、ご家庭でぜひご確認ください。早速今日持ち帰ったテスト問題をご覧ください。

【1年生放課後質問タイムの様子】



## 養蚕とはた織りのまち



教室の間の廊下に「蚕（かいこ）」の観察スペースを設けています。ご存知の方が多いと思いますが、古くから小高区（旧小高町）は養蚕の盛んなまちで、小高の絹織物「軽目羽二重」は川俣、飯野と並び国内外に名を馳せるほどの産地でした。その後大正時代に最盛期を迎えましたが、貿易自由化や輸出制限などにより徐々に生産数は落ち込むこととなります。しかし「小高の養蚕をなくしてはならない」と、地域の方々が養蚕業復活に向け協力して取り組み、昨年度の卒業生には小高の絹と藍染めで作られたブローチを作製し、プレゼントしていただきました。観察用の蚕はすっかり繭へと完全変態を遂げました。養蚕についてさらに興味や関心を持った生徒もいたことでしょう。

